

第5学年 国語科学習指導案

1組 男子16名 女子13名 計29名

指導者 福留由美

単元・題材名	事例と意見の関係を押さえて読み、考えたことを伝え合おう 想像力のスイッチを入れよう（光村図書5 銀河 P187）
---------------	---

単元（題材）の目標

【単元（題材）】

- ・ 文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げることができる。【思C(1)カ】
- ・ 文の中での語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、文章の構成や展開、文章の種類とその特徴について理解することができる。【知(1)カ】
- ・ 事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握することができる。【思C(1)ア】
- ・ 文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができる。【思C(1)オ】

単元の位置とねらい

児童はこれまでに「見立てる／言葉の意味が分かること」「固有種が教えてくれること」などの説明的な文章を読み、筆者の考えを明らかにしたうえで、文章の書かれ方、筆者の工夫を捉えてきている。

本単元では、事例と筆者の意見との関係を捉えて読み、メディアに関して考えを深めて交流する学習活動を行う。これまでの既習事項をいかしながら、筆者の意見と事例との関係について考え、話し合い、筆者の意図に気付かせていきたい。

さらに、ここでの学習は6年「メディアと人間社会／大切な人と深くつながるために」の学習へとつながっていくものである。

児童の実態

【単元に関する質問】 R2.12月実施

- ① メディアとは何か（数字は人数，複数回答あり）
- ・ 情報を発信するもの（24） ・ テレビ（28） ・ インターネット（27）
 - ・ 新聞（28） ・ 雑誌（22） ・ ラジオ（25）
- ② ①で答えたメディアの良い点は何か（自由記述，複数回答あり）

テレビ	・ 音声と映像の両方あるから分かりやすい。 ・ 速報がある。 ・ いろいろなことが分かる。	インターネット	・ 知りたいことをすぐに調べることができる。 ・ 情報を得るだけでなく、こちらからも発信できる。
新聞	・ 何度でも読み返すことができる。	雑誌	・ 読みたいものを選ぶことができる。
ラジオ	・ 災害時にも使える。 ・ 聞くだけで分かる。		

【学び合いに関する質問】

項目	とてもやりがいを 感じる	やりがいを 感じる	あまりやりがいを 感じない	やりがいを 感じない
自分たちで考えたり，話し合ったりする授業	16	11	1	0
自分たちが発表したり，友達の発表を聞いたりすることが多い授業	15	12	1	0

本学級の児童は、社会科「未来につながる情報」でメディアについて学習してきており、メディアに対する関心も高い。また学び合いに関して、友達と話し合ったり、考えを共有したりする活動にやりがいを感、意欲的に行っている児童が多い。そこで、教材文の中の「4つのスイッチ」や「小さなまど」「かべ」などの比喩表現について考えたり、メディアとの関わり方について自分の考えをまとめたりする際には、学び合い活動を取り入れ、自分の考えを深めていけるようにしたい。

本時の目標（5/7）

四つのスイッチを入れて実際のニュースを読み、メディアと接するときの自分の考え方を広げたり深めたりすることができる。

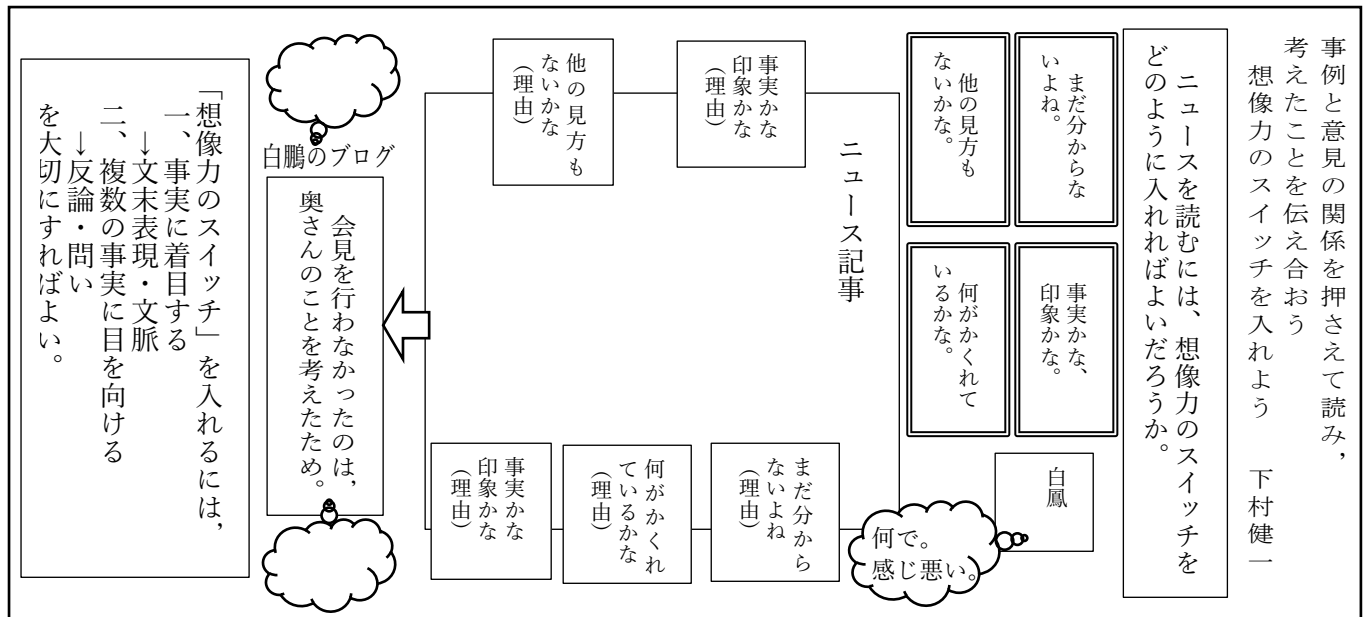
本時・学び合いの流れ ※下線は「言葉による見方・考え方」

過程	学習活動	主な教師の働きかけ ※…評価
問いをもつ 5分	1 前時までを振り返る。 2 教師が提示したニュースを読み、学習課題を焦点化する。 ・ 「想像力のスイッチ」を入れずに読んだ感想を出し合う。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> ニュースを読むには、想像力のスイッチをどのように入れればよいだろうか。 </div> 3 学習の見通しをもつ。	<ul style="list-style-type: none"> 前時までの学習を振り返る際、4つのスイッチの役割とその活用の仕方を、掲示物を使って想起させる。 学習課題を焦点化させるために、「想像力のスイッチ」を入れずに読むとどう思うか考えさせる。 ※ 本時の活動について見通しをもつことができたか。（観察）
学び合い 32分	自力解決 4 4つのスイッチを使ってニュースを読む。（個） ・ スイッチごとにノートに整理する。  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 「大人げない」と書いているけど、それは書いた人の印象だと思う。 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ワークシートに書き込む際には、思考を整理するために、4つのスイッチごとに整理させる。 活動が滞っている児童には、文末表現に着目させるなど手掛かりを与える。
	集団解決 5 自分の考えをもとに、グループで話し合う。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> このニュースには事実が少なく、悪い印象の文章が多いね。 </div>  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 「他の見方はないかな」を使うと、もしかしたら他の理由があったかもしれないって考えられるね。 </div> 6 話し合ったことを全体で共有する。 ・ 叙述をもとに、4つのスイッチを検証する。	<ul style="list-style-type: none"> 自分の考えをグループで交流し、出た意見をワークシートに記入していく。 どのスイッチを使ったかすぐに分かるようにするために、記入する際は付箋で色分けをする。 ※ ニュースの言葉をもとに、4つのスイッチを働かせて読み、自分の考えを交流することができたか。
	再自力解決 7 自分の考えをまとめる。  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> この文章には、事実が少なくて印象が多くなっているから、やっぱり他に理由があったんだと思うな。 </div> 8 ニュースの後日談を聞く。	<ul style="list-style-type: none"> 「想像力のスイッチを入れずに読むとどう思うか」の感想と比べ、スイッチの大切さを実感できるようにする。 ※ 友達との交流を通して、自分の考えを広げたり深めたりすることができたか。
まとめ・ふりかえり 8分	9 本時のまとめをする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 「想像力のスイッチ」を入れるには、 一、事実に着目する →文末表現・文脈 二、複数の事実を目を向ける →反論・問い を大切にすればよい。 </div> 10 本時の学習を振り返る。 ・ ふりかえりカードに記入する。 11 次時の学習について知る。	<ul style="list-style-type: none"> 表現の例を示し「想像力のスイッチ」を入れて読んだときの変化を考えさせる。 <表現の例> ◇ 始めは…だったけれど、～と考えることで…。 ◇ スイッチを使わなければ…だった。やっぱり～が大事だ。 ※ 「想像力のスイッチ」を入れて読むことの良さをまとめることができたか。

単元計画

	学習内容	主な教師の働きかけ ※…評価
1	<p>○ 単元の学習内容を確認し、学習の見通しをもつ。</p> <p>① 教師の提示したニュースを読み、感想を話し合う。</p> <p>② 単元扉を読み、題名などからどのような文章の内容かを想像する。</p> <p>③ 全文を通読し、感想や考えをもつ。</p> <p>④ 単元の学習課題を設定し、学習計画を立てる。</p> <p>⑤ 語句確認・進出漢字の学習をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 題名などから「想像力のスイッチ」とは何かを想像させ、内容への関心を高める。 ※【態】題名や事例に関心をもって通読し、初発の感想をもつことができる。(記述) ・ 初発の感想や考えをまとめながら、単元の学習課題につなげていく。 ※【態】意欲的に計画を立てようとしている。(発言)
2	<p>○ 文章の構成や展開を押さえて読み、内容の大体を捉えることができる。</p> <p>① 「メディア」についての筆者の考えを捉える。</p> <p>② 文章全体を大きく3つのまとまりに分ける。</p> <p>③ まとまりごとに、内容を簡単にまとめる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「メディア」を筆者がどのようにとらえているかを押さえる。 ・ 事例や筆者の考えに着目し、文章を大きく3つのまとまりに分ける。 ※【知】文章の構成や展開を押さえて読み、叙述を基に、文章全体を3つに分けることができる。(記述・発言) ※【思】述べられていることについて整理し、内容の大体を捉えている。(記述・発言)
3	<p>○ 事例と意見の関係を叙述を基に押さえ、事例を挙げて説明する効果を考える。</p> <p>① 事例の内容を読み取り、整理する。</p> <p>② 事例に対する筆者の意見を捉える。</p> <p>③ 複数の事例を挙げて説明する効果を考える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事例の内容を読み取り、事例と筆者の意見を表に整理する。 ・ なぜ3つも事例を挙げたのかに着目し、事例を挙げて説明する効果を考えさせる。 ※【思】事例と意見の関係を押さえ、事例の効果について自分の考えをもつことができる。(記述・発言)
4	<p>○ 「想像力のスイッチ」という表現について叙述を基に意味を捉え、意図を考える。</p> <p>① 「想像力のスイッチ」という言葉を、本文の言葉を使ってまとめる。</p> <p>② 筆者の意図を考える。</p> <p>③ 最後の段落の比喩表現について考える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 比喩表現に筆者の思いが現れることに気付かせ、比喩の意味を考えさせる。 ・ 最後の段落の比喩について、文章中の言葉を使って言い換えさせる。 ※【思】比喩表現を用いた筆者の意図やその効果を考え、自分なりにまとめることができる。(記述・発言)
5 本 時	<p>○ 実際の記事を「想像力のスイッチ」を使って読む。</p> <p>① 4つのスイッチを確認する。</p> <p>② どんな読み方ができるか考える。</p> <p>③ ニュースの続きを確かめる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 4つのスイッチを入れないで読むとどうなるかを考えさせる。 ・ 読んで考えたことを友達と交流し、自分の考えを明確にさせる。 ※【態】進んで友達と考えを交流している。(観察・記述)
6	<p>○ 自分の経験を思い出して、メディアとの関わり方について自分の考えを書く。</p> <p>① 「もっと読もう」を読み、メディアとの関わり方を振り返る。</p> <p>② 自分の考えをまとめる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 文章にまとめるときの観点を提示し、児童がいつでも確認できるようにする。 ・ 自分の考えをまとめる際に使える言葉や文型などを示すようにする。 ※【思】自分の経験や知識等を踏まえて自分の考えをまとめることができる。(記述)
7	<p>○ 書いた文章を読み合い、感じたことを伝え合う。</p> <p>① グループに分かれて文章を読み合う。</p> <p>② 感想を交流する。</p> <p>③ 交流を振り返り、取り入れたい友達の考えなどをまとめる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分の意見との共通点や相違点を考えながら交流させる。 ・ 自分に取り入れたい友達の考えを記録しながら読み、振り返りにいかせるようにする。 ※【思】自分の意見との共通点や相違点に着目して読み、自分の考えを広げることができる。(観察・発言)

板書計画



ワークシート (個人・グループ)

大人げない横綱・白鵬の態度

千秋楽の翌日は、根拠記者クラブが設ける優勝力士の一夜明け会見が慣例で「感動再」とファンも注目している。相撲協会の公式行事とまではいかないが、優勝力士はよほどの用事がない限り拒むことはできない。

ところが、白鵬は自ら申し入れを蹴った。部屋関係者も懸命に説得したが、頑として応じなかったという。理由はいろいろあるのだが、どうしても嫌なようです」といふ部屋関係者の説明を聞くと、まるで駄々っ子だ。

もともと白鵬は報道の質問には誠実に答える力士で、これまで取材拒否などは一切なかったという。それが十四日の鶴竜戦に勝った後、突然、無言の行に入った千秋楽も口を閉じたもの、不機嫌で質問には答えなかったという。

ところが、NHKの土俵下での優勝力士インタビューや夜の「サンデースポーツ」のインタビューではいつもの通り、にこやかな表情で話した。

「明治時代からある相撲記者クラブは、日本中のあるある記者クラブの中で一番歴史がある巨匠がいる。そのメンツを潰されてしまったと知り合いの相撲関係者は笑った。

では一体、理由は何か。週刊誌やスポーツ紙に気に入らない記事があった二篇化問題で父親を衝突した千秋楽の日馬十戦で、勢の里を優勝させた。観客から日馬富士コールが起き、気分善した。インターネット上でさきま見方が飛んでいるが、いずれも情測の域を出ない。

白鵬は何かというと「双葉山関、大鵬関」と尊敬する大横綱の名を口にす。しかし、こんな大人げない態度を起すようでは、とて一人の足下には及ばない。

「藤原のときもそうだったが、今場所も初顔合わせの小結千代風に立ち合いで張り手を見舞った。勢の里戦では、立ち合いの駆け引き、勢をしろし立ち遅れさせて勝った。悪文朝吉龍と対照的だった当初と違って、いまターナーイナイメーシングを出てきた」と関係者は嘆く。

場所後の廿三日、白鵬は皇親大使を務める北海道滝川市で、毎年恒例の「白鵬米」の田植えを行った。遠く北海道まで飛んでいって着類をふりまくことができるのに、マンションから部屋にだけ着て済む見聞できないとは、これいかに。

何が不服なのか黙っているのはスポーツマンらしくない。こんな状態が続くと相撲記者クラブとの亀裂も深まるばかり。白鵬にとっては損はあっても、得になることは何一つないだろう。

【出典】スポーツ随想 2014】

